太陽光発電システムセット 取扱説明書

接続方法・手順に関する重要注意事項です

必ず熟読してから接続してください

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
太陽光発電システムセット製品をご使用の際は、必ず以下事項を守ってお使いください。
万一、以下接続方法の遵守、お客様責任による改造ほか、各種注意事項をお守りいただけないことによる事故、怪我などに関しましては、弊社の担保する損害賠償の対象外となりますので、予めご承知おきください。

平成 26 年 1 月 10 日改定

【蓄電システム.com】株式会社オータムテクノロジー

【当取扱説明書に該当する商品】

1. 5W 太陽光発電システムセット各シリーズ
2. 10W 太陽光発電システムセット各シリーズ
3. 20W 太陽光発電システムセット各シリーズ
4. 30W 太陽光発電システムセット各シリーズ
5. 50W 太陽光発電システムセット各シリーズ
6. 100W 太陽光発電システムセット各シリーズ
7. 150W 太陽光発電システムセット各シリーズ
8. 190W 太陽光発電システムセット各シリーズ
9. 200W 太陽光発電システムセット各シリーズ
10. 200W・300W 太陽光発電システムセット各シリーズ
11. 380W・400W 太陽光発電システムセット各シリーズ
12. 500W 太陽光発電システムセット各シリーズ
13. 600W 太陽光発電システムセット各シリーズ
14. 760W 太陽光発電システムセット各シリーズ
15. 800W 太陽光発電システムセット各シリーズ
16. 1,000W 太陽光発電システムセット各シリーズ
17. 1,200W 太陽光発電システムセット各シリーズ
18. 1,600W 太陽光発電システムセット各シリーズ
19. 2,000W 太陽光発電システムセット各シリーズ
20. 3,000W 太陽光発電システムセット各シリーズ
21. 球状シリコン フレキシブル（27W パネル） 太陽光発電システムセット各シリーズ
22. 球状シリコン フレキシブル（54W パネル） 太陽光発電システムセット各シリーズ
23. セミフレキシブル（50W・80W パネル）太陽光発電システムセット各シリーズ

【セット商品一覧】

1 ソーラーパネル
2 チャージコントローラー
3 バッテリー
4 DC-AC インバーター
5 ケーブル 1 式（シリーズにより仕様は異なります）

1　ソーラーパネル取扱い上の注意

1. ソーラーパネルの表面は、ガラスコーティングされていまので、鋭利な金属等に接触しますと破損することがあります。十分に気をつけてお取扱いください。

2. ソーラーパネルを使用せず保管するときは、受光部分を裏側にして発電しないようにするか梱包して出力ケーブルの（＋）極と（－）極を触れないようにしてください。セルの故障また劣化の原因になります。

3. ソーラーパネルは、防水仕様になっていますが防汚仕様ではありません。鳥のフンやホコリなどが付着すると発電効率が低下しますので、汚れていると思ったら掃除してください。

4. 台風などの強風下では、想像以上のパネルを巻き込むような風が吹くことがありますので、固定せずパネル単体で設置することは絶対にお止めください。

5. ソーラーパネル（太陽電池ともいいます）からは、（＋）極と（－）極のケーブルが出ています。各極はチャージコントローラーの同じ極側に接続してください。

6. 一般的にソーラーパネルの耐用年数は 20 年以上と言われています。発電していないと思ったら、必ずバッテリーを接続した状態で、チャージコントローラーの出力側端子の電圧を計測してください。（バッテリー電圧より若干高い電圧が出ていれば正常です。そうでないときは、弊社までご連絡ください）

7. ほか、同梱されているメーカーの説明書を遵守してください。

2. チャージコントローラー取扱い上の注意

1. チャージコントローラーは、屋外型（完全防水仕様）のものと、屋内型（非防水仕様）があります。防水仕様でないものは、絶対に屋外で使用しないでください。火災の原因となる場合があります。

2. 湿度の高い場所で使用しますと、結露による故障原因となります。必ず、通気性のよい場所に設置してください。

3. 高温下（40℃以上）で使用しますと、チャージコントローラーの種類によっては、保護回路が動作して電流が流れなくなる場合があります。また、温度センサー付きのコントローラーの場合も同様ですので、必ず、高温時は直射日光を遮断して本体が高温にならないように設置してください。

4. チャージコントローラーの性質上、バッテリーとの接続がない場合には、コントローラーの出力端子には正しい電圧が出ません。出力電力を計測する場合にはご注意ください。

5. チャージコントローラーの種類によっては、ソーラーパネルとの接続よりも、バッテリーを先に接続しなければ誤動作により正しく充電できないことがあります。必ず「チャージコントローラー⇒バッテリー」を先に接続してください。またこの際、（＋）（－）を間違えないように接続してください。

6. 充電するバッテリーを交換するときなど、チャージコントローラーの種類によっては（特に高機能のもの）、前回までの自動設定データを記憶したままになっている場合があります。その際は、必ず一定時間（機種によっては 10 分以上）間を置いて接続してください。

7. チャージコントローラーは、バッテリーが満充電に近くなると供給電流を大きく低下させます。（フロート充電中）故障ではありませんので、その際はバッテリー電圧値を計測してください。

8. ほか、同梱されているメーカーの説明書を遵守してください。

3. バッテリーの取扱い上の注意

1. バッテリー、バッテリー充電器には、正極側（＋）と負極側（－）とがあり、これをショート（短絡）させることは大変に危険です。万一のために、必ず電気を絶縁できるビニール製手袋等を使用して接続を行ってください。また、各種接続は＋/－を間違えないように慎重に時間をかけて行ってください。

2. バッテリーをぬれた手で取り扱わないで下さい。（＋）（－）を同時に触れなくても感電することがあります。

3. バッテリーは、基本的に正しい底面を下にしてご使用ください。（但し、「LONG」製のバッテリーは横にしても OK です）

4. バッテリーは、全く使用しないときも常に自然放電しております。その場合でも､必ず 1～2 ヶ月に 1 度程度は満充電になるまで充電して保管して下さい。（※約 6 ヶ月以上放置しますと、充電しても本来の性能を発揮できなくなるような電圧降下を起こし回復不能となります）

5. 蓄電システムセット商品は、バッテリーからの DC12V（直流電流）をインバーターを介して AC100V に変換して使用するためのものです。したがって、DC12V の電力をバッテリーから直接取り出すことは想定しておりません。万一､そのようなご使用方法をとる場合には､自己責任でお取扱いください。(過放電によるバッテリーの劣化もしくは使用不能状態を招くことがあります)

6. バッテリーには寿命があります。(放電深度 50%、サイクル回数年間 100 回として、鉛バッテリーの場合「3～4 年」が目安です）弊社にて取り扱うバッテリーのすべては正規販売店を経由しており「1 年間」の製品保証がありますが、ショートや極端な過放電状態（直接接続の過放電、長期間の放置による過放電：バッテリー電圧が 8V 以下まで低下してしまったもの）は、保証対象外となります。

7. 乳幼児やペットなど、電極に触れると大変に危険です。絶対に手の届かない場所でご使用ください。

4. DC－AC インバーター取扱い上の注意

1. インバーターが動作するには、入力側となるバッテリーからの電気が必要で、＋側と－側があります。各極を絶対に間違えないように、ビニール手袋等で絶縁の上接続してください。また、ワニロクリップ式の場合には、しっかりかみ込んでいることを確認してください。また、この際端子から火花が出ることがありますので、十分に気をつけてください。(※＋－極を同時に触れなければ感電することはありませんが、火花でやけどをすることもあります)

2. インバーターには電源コンセントはありません。バッテリーからの電気を供給され動作します。

3. インバーター、バッテリー間のケーブルの接続は、まずインバーターの電源スイッチが OFF になっていることを確認の上、インバーター側の接続端子に（+）極、（－）極をつなぎ、その次にバッテリーの（＋）極、次に（－）極をつないでください。外すときは、その逆の手順で（－）極の次に（＋）極を外してください。

4. 各種インバーターには、「定格出力」と「最大瞬間出力（サージ電力)」という製品規格があります。サージ電力とは、モーター駆動系の電気製品など、瞬間的に大きな電力を必要とすることを想定して設計されたものであり、連続してサージ電力値を出力するものではありません。ご使用になる電気製品のカタログデータ等、よく照らし合わせてセット商品に付属するインバーターの仕様を確認ください。

5. インバーターの種類には、正弦波（サイン波）出力タイプと擬似正弦波（矩形波）がありますが、擬似正弦波タイプの安価な製品では正しく動作しない機器が多数あります。もし、前項で説明したサージ電力不足でなく動作しない場合には、使用機器メーカーにお問合せください。

6. インバーターは、定格出力に近い電力で連続して稼動させますと、ファンが回り思ったより大きな発熱をしてきます。故障ではありませんが、近くに発火する恐れのあるものを絶対に置かないでください。また、直射日光の直接当たる場所でも高温となり危険です。必ず、通気性を確保して遮光しご使用ください。

7. インバーターは、製品によっても仕様は若干異なりますが、バッテリー電圧が概ね 10.5V まで低下した場合「ピー音」がして負荷（使用機器）を遮断します。これは、バッテリーの過放電を保護するための機能で故障ではありません。(バッテリー残量は「10.5V」で約 75%以上放電しています)

8. 乳幼児やペットなど、電極に触れると大変に危険です。絶対に手の届かない場所でご使用ください。

9. ほか、同梱されているメーカーの説明書を遵守してください。

5. バッテリー充電器取扱い上の注意 ※別途ご購入いただいた場合

1. 各シリーズに付属しているバッテリー充電器は、バッテリーの性質、また容量に対し適切な機器を選定してあります。その他製品で充電することはお止めください。

2. バッテリー充電器には、（＋）極と（－）極があります。バッテリーを充電する際は、それぞれ（＋）極と（＋）極、（－）極と（－）極を合わせて接続してください。

3. 一部のバッテリー充電器では、電源スイッチのないものもあります。必ず、バッテリーの接続端子をつないでから充電器の電気を入れてください。万一通電状態で、バッテリー側のワニロクリップが接触していた場合は、ショートして内蔵されているヒューズが溶断したり、スパークによる充電器破損を招く恐れがありますので、十分にご注意ください。

4. 各種蓄電セット商品に付属しているバッテリー充電器は、すべて「全自動充電器」となります。満充電となるまで、充電（放電）状態により約 10 時間程度かかることもあります。万一、この時間が過ぎても充電完了とならない場合は、バッテリーの劣化が考えられますので、当店までご連絡ください。（テスターで計測して「6V」以下となる場合には充電できないことがあります）

5. 乳幼児やペットなど、電極に触れると大変に危険です。絶対に手の届かない場所でご使用ください。

6. ほか、同梱されているメーカーの説明書を遵守してください。

この度は、【蓄電システム.com】から当社セット商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。セット商品に関わるご質問、ご意見、苦情等ございましたら、いつでもお気軽にご連絡ください。

（ご連絡先）

- 店名　蓄電システム.com
- 運営会社　株式会社オータムテクノロジー
- URL　http://www.chikuden-sys.com
- メール　info@chikuden-sys.com
- 電話/FAX　03-5856-1188/03-5812-3882
- 営業時間　10：00～19：00
- 休業日　土日祝日、年末年始、夏季休暇
他研修等での休業は HP 上でお知らせ

※メール、問合せフォームからのご連絡はいつでも受け付けております。